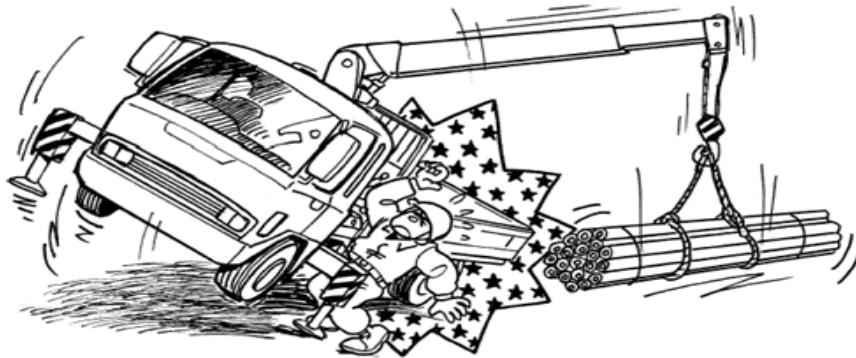


トラック積載型クレーンの 転倒事故を防ごう



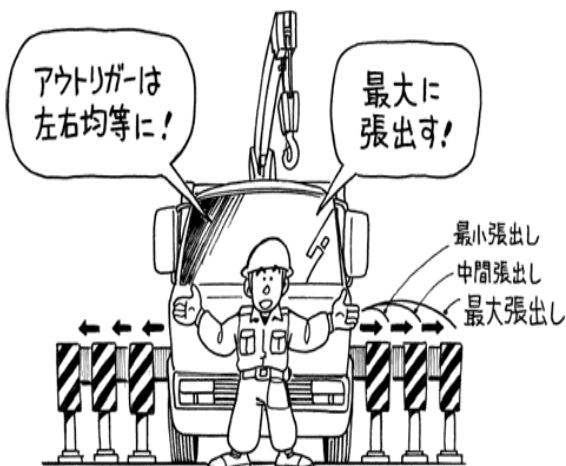
転倒事故を防止するためには

転倒事故の主因は「過負荷」と「アウトリガーの沈下」です。
転倒事故防止のポイントをまとめると、次のようなことが挙げられます。

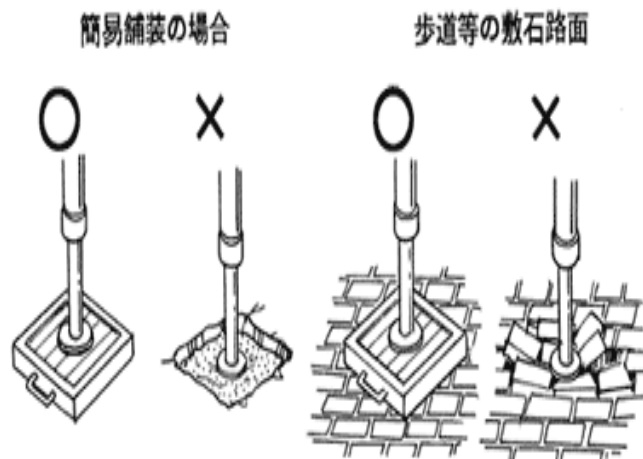
<転倒事故を防止するポイント>

- ① アウトリガーは最大に張出す。
- ② アウトリガーの設置地盤は養生する。
- ③ 作業は空車時定格総荷重に基づいて行う。
- ④ 旋回時には作業領域に注意する。
- ⑤ 積荷を降ろすときは車体の安定度に注意する。

①アウトリガーは最大に張出す



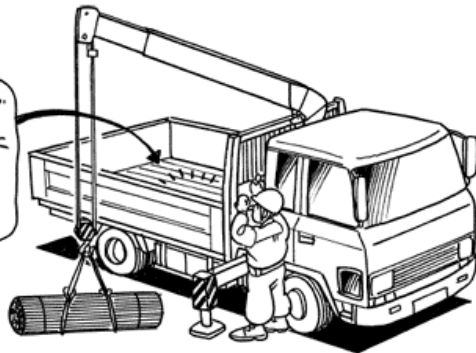
②アウトリガーの設置地盤は養生する



③作業は空車時定格総荷重に基づいて行う

「空車時定格総荷重」

車両の荷台に積荷がないときに、クレーンに負荷できる最大の荷重（つり具の重量を含む）

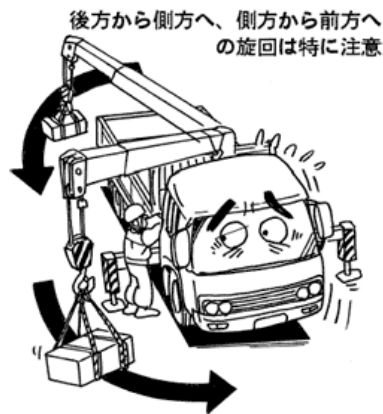
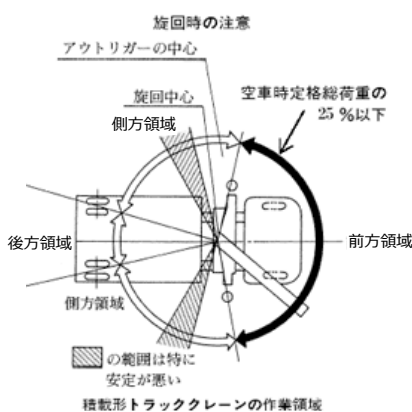


《ポイント》

積載形トラッククレーンは荷台の積荷によって安定度が変わり、積荷がないときに最も不安定になります。

この最も不安定な状態を基準に設定された「空車時定格総荷重」で作業する事が基本となります。

④旋回時には作業領域に注意する



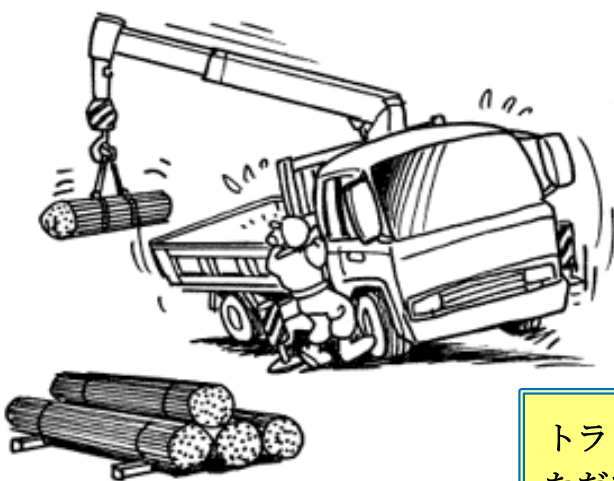
《ポイント》

後方領域は最も安定がよく、安定に関係なくウインチ能力一杯の荷物をつり上げることができます。

このため、後方領域で荷物をつり上げ、側方領域へ旋回するときはオーバーロードによる転倒に注意しなければなりません。

⑤積荷を降ろすときは車体の安定度に注意する

積荷を降ろすときは
車体の安定度に注意



《ポイント》

車体の安定度は荷台に積荷を積載しているときと空車時では大きく異なります。

積荷が減るに従って安定度は悪くなりますので、荷台から積荷を降ろすときは特に注意が必要です。

トラック積載型クレーンの転倒事故が発生した際は、ただちに所轄労働基準監督署に連絡してください。

盛岡労働基準監督署

TEL : 019-604-2530